

番号	61	産業開設工事記念碑 佐賀縣知事 鍋島直紹		
所在地	伊万里市大川町大川野 長野地区			
災害別	昭和２３年（１９４８）水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和２７年４月	
特記事項	碑文一部判読困難			



伊万里市大川町長野地区にある産業開設工事記念碑。昭和23年9月12日に当地を襲った水害の被害について記されている。なお、竿石に刻まれた碑文は判読困難な箇所が多いが、幸い伊万里市立大川中学校発行の「ぼくたちの郷土2 金石文を尋ねて」(1961)に碑文が記されているので一部引用した。(原文はカタカナ表記、旧字体)

(竿石右面)「当長野区は耕作水田面積四十町歩を有するも農道狭小にして耕作極めて不便なれば年次計画を樹て改修新設しまた溜池の水量不足のため旱害を蒙ること多きによりこれが対策として野添中溜両池の堤塘に嵩置工事を施し貯水量約三倍を得たり 斯くの如くにして農業経営の上に一大改革を加

えたり 此に於て交通運搬の便大いに開け灌漑口口如くなり各種の農作業は一変して全く機械化するに至れり 昭和廿三年九月十二日九州一帯に襲来せる暴風雨は甚だしき惨害を加え、当区にありても池塘決壊二ヶ所橋梁流失四ヶ所に及べり 茲に碑を建設して当区農業改善の概要をして後世に伝えんとす 昭和二十七年四月 長野区 柳田米一撰並書」



(竿石左面) 昭和廿七年四月建立 長野区 設計監督 古藤長之助

(切石中段正面) 農道 昭和十五年三月起工 昭和廿三年四月竣工 溜池 昭和十八年十月起工 昭和廿一年五月竣工 災害復旧 昭和廿三年九月起工 昭和廿六年四月竣工

(切石中段右面) 農道 総工費 六萬四千参百圓 延長 壹千八十二米 使用延人夫 四千

七百二十人 溜池 野添中溜 総工費 二万九千九百圓 使用延人夫 五千六百人
堤塘高置一米 災害復旧 総工費 百六十萬圓 使用延人夫 五千二百六十人 (切
石中段背面)、基礎 工事委員、建設委員、歴代区長等氏名 (略)



国土地理院電子国土 Web